令和２年６月 10 日

神経内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名　パーキンソン病患者さんの非運動症状を含めた臨床症状とドパミントランスポーターシンチグラフィー所見の関連の検討

研究機関　市立札幌病院　（診療科名）神経内科

研究責任者　診療科名：神経内科　／実施責任者名：水戸泰紀

研究の目的

パーキンソン病の基本的な症状は振戦、筋強剛、寡動、姿勢反射障害とされているが、近年は非運動症状を含めた多彩な症状を呈する全身病であると考えられるようになっている。またパーキンソン病の主な病因はドパミン神経の変性であるが、非ドパミン系の変性も症状に関与していると考えられている。各臨床症状とドパミントランスポーターシンチグラフィー（DaT スキャン）所見との関係を検討することにより、各症状に対するドパミン神経変性の関与について評価を試みる。

研究の方法

１　対象となる患者さん

2014 年 1 月 1 日から 2020 年 5 月 31 日までに当院を受診しドパミントランスポーターシンチグラフィー（DaT スキャン）が施行されパーキンソン病と診断された患者さん。

２　利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果(運動症状および非運動症状の評価結果、血液検査、画像検査結果)、治療経過等。

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患

者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。
利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】
北海道札幌市中央区北 11 条西 13 丁目
市立札幌病院神経内科